

三重の木を使おう、
森を育てるために



木をよく
知ろう

木と
もっと
親しもう

木を使おう

三重の林業

題字：三重県知事 野呂 昭彦



熊野原木市場（熊野市）

目 次

2011年3月

No. 361

森林政策情報	みえ公共建築物等木材利用方針を策定しました。	2
話題を追って	未来につながるお店「ブルック」オープン	4
話題を追って	森林保全へのスタート	6
話題を追って	山の仕事は楽しい	7
話題を追って	緊急雇用で行う獣害対策	8
話題を追って	尾鷲ヒノキの復権を目指して!	9
話題を追って	大又森林整備協定の締結	10
話題を追って	林業活性化の取組が優秀賞を受賞	10
団体情報提供	望まれる合法木材の需要拡大	11
ミニ情報	「森林と木」のミニ情報	12
連載	頑張ってます!	13
連載	この人に聞く ～第32回・櫻井宏明さん～	14
技術情報	三重県版スギ・ヒノキ人工林システム収穫表の作成	16
木材市況	県内木材市場市況の概況(2月)	18
行事予定	森林・林業関係行事予定表	18

緊急雇用で行う獣害対策事業 ～トウモロコシから生まれたテープ巻～

伊勢農林水産商工環境事務所 森林・林業室 野村 久子

現在、伊勢管内の大内山県行造林で、獣害対策のためのテープ巻が行われています。これは、「緊急雇用創出事業」の一環で、短期の雇用機会の創出と、昨今、被害の増加が問題になっている、シカ等の剥皮被害防止が一度に行える、一石二鳥の事業です。

◆資材

この事業で使われているテープは、一見、普通のビニールテープと同じですが、トウモロコシを原料にした生分解性テープです。

設置後、約3年から数年かけて、水と炭酸ガスに微生物分解されるので、樹木の生長とともに幹に食い込む心配もなく、環境に優しい素材と言われています。

◆作業

作業は、テープを立木の地際から約80cmの高さまで、らせん状に巻いていくものです。生分解するまで外れないように、かつ、立木の生育を妨げないように適度に余裕を持たせて巻き付けなければなりません。

また、現場は急峻で足場も悪く、夏は暑いし、冬には雪が積もる場合もあります。

8月、事業に着手した当初は、普段、山仕事になれていないであろう新規雇用者に、作業ができるだろうか、との心配もありました。

しかし、そんな心配をよそに作業は着々と進み、林内のスギ・ヒノキには次々と白いテープが巻かれていきました。

それはまさに、大事なものを包んでいくというような情景です。

◆効果

この事業により期待できる効果は2つあります。

①雇用の創出

②獣害の防止

①に関しては、はっきりと目に見える実績がありました。願わくは、この作業を通じて少しでも林業を理解し、これからも林業に関わってほしいです。

②に関しては、検証はこれからです。前例によると、確かに獣害防止効果は期待できるようですが、施工後に、テープの巻けない根張りの部分が剥皮される場合もあるようです。

しかし、材に影響がない程度の剥皮なら、効果が十分あったとしていいと思います。

周辺の未施工地と比較して、生分解するまでの獣害防止効果を検証することが必要です。

◆今後

この地域でも効果が立証できれば、民有林でも被害の多い箇所、獣害防止のテープ巻を勧めることができます。

県行造林地で行った事業が、民有林でも活かせる結果になれば嬉しいことです。



テープ巻の作業状況



施工後